

風の子

ホームページ <http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/ogu/>

当日だけでなく・・・

園長 小島 武志

教育目標

- 元気で明るい子
- よく考え、すすんで行動する子
- 思いやりのある子

10月7日(土) 前日からの雨のため体育館での実施になりましたが、気温はそれほど高くもなく運動には適した環境の中、第69回運動会が開催されました。多くの来賓の皆様、保護者の皆様、そして地域の皆様に会場となった赤土小学校体育館にお越しいただき、園児の元気いっぱい演技・競技している姿に温かいご声援をいただきました。子供たちも声援に応えるかのように普段以上の力を出し、かけっこ、リズムダンスに親子競技、そして紅白対抗の競技に心を一つにしてパワー全開、一生懸命に取り組んでいました。

今年の運動会のねらいは、「運動会を通して体を動かすことを楽しみ、好きになる」でした。かけっこでは、「よい、ピッ」の合図でみんなまっすぐに一所懸命走っていました。とりわけ「そら組」のみなさんは、年少・年中児のお手本のごとくトラックに沿って一番長い距離を走りました。みんなとても格好よかったです。また、各組のリズムダンスは発達段階を踏まえてのかわいいダンスや力強いダンス、園児は一生懸命に覚えた振付をからだ全体を動かして表現していました。親子競技においては、普段とは違うけれど緊張した中でも大好きなお母さんやお父さんと一緒にできることで、甘えたくさや一人前のごとく振る舞う姿、でも親子で真剣に競技している姿、ほほえましい姿がたくさんありました。運動会のねらいは、達成できたと確信しております。

運動会後に「運動会の前、ご家庭でのお子様の様子はどうでしたか？」というアンケートを取らせていただきました。幾つか紹介します。

- ・運動会について家であまり話しませんが、家族みんなの前で歌とダンスを披露してくれました。
- ・グループは誰と一緒に振付がすこし難しいと話してくれました。
- ・私の分もお化けのお面をつくってくれました。
- ・おばけのパーティのダンスをよく練習していました。「他にはどんな事をするの？」と聞くと「楽しみにしてて!!」と詳しく教えてくれませんでした。
- ・リレーの話は、勝った負けただけは話してくれましたが、アンカーのことは話したがり、私がかんばって!と話すと、「言わないで!」と言われ、プレッシャーを感じているようでした。
- ・リズムで走る順番を考えたり、ダンスも自分たちで考えたんだよ!と話してくれました。
- ・毎回勝った、負けたの報告で、勝敗にこだわっている様子でした。

アンケートを読んでいると、運動会の練習が始まってから当日までのご家庭でのお子さんとの会話や情景が目浮かぶようです。「ねえねえ、今日ね、あのね・・・」「あら、そうなの・・・上手くなったね。」「でもね、むずかしいだよ・・・」「だいじょうぶだよ。できるわよ。」毎日、優しい笑みを浮かべ、お子さんの話に耳を傾け、じっくり話を聞いていただいたお父さん、お母さん。包み込むように全てを受け止めて、お子さんが当日力を発揮できるよう励ましていただいたお母さん、お父さん。みなさんは、場所は各家庭からですが、当日だけでなく、練習の時から尾久幼稚園の運動会にお子さんと一緒に参加していたと実感しました。本当にありがとうございました。

11月のねらい

《3歳 たんぼぼ組》

- ・教師や友達のしていることに興味をもち、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- ・身の回りのことを進んでしようとし、自分でできる喜びを味わう。

《4歳 うさぎ組》

- ・自分たちで遊びの場をつくったり、見たことや感じたことを様々な方法で表現したりして遊ぶことを楽しむ。
- ・秋から冬にかけての自然に関心をもち、自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむ。

《5歳 そら組》

- ・共通の目的に向かい、友達と考えを出し合ったり、自分の行うことに意識を持ったりしながら活動を進める楽しさを感じる。
- ・秋から冬にかけての自然や事象を見たり、触れたりし興味をもって関わる。

やわらかな陽ざしの中で遊ぶ 風の子たち！

<年少・たんぼぼ組>

初めての運動会を経験した子供たち。練習が終わるたびに「またかけっこしたい。」「もう一回パラバルーンの中に入りたいな。」「フルフルフルーツを踊りたい。」と話し、次できるのを期待しながら過ごしてきました。本番では、いつも通り元気に参加したり、いつも以上に張り切って競技を行ったりと、とても立派で成長を感じました。運動会が終わった後、他の学年のリズムを教えてもらい、一緒に踊ったり、「もう一回踊って。」とリクエストしたりして余韻を楽しみました。リズムを教えてもらい、とても嬉しそうにしていました。

運動会が終わった後、「鬼ごっこしよう！」と友達や教師を誘い、簡単なルールを守りながら、楽しく逃げ回る姿が見られました。体を動かす心地よさを感じながら、繰り返し遊んでいます。

11月は秋ならではの体験をたくさんする中で、教師や友達のしていることに興味をもったり、一緒に遊ぶ楽しさを感じたりできるよう援助していきます。

<年中・うさぎ組>

「あと 回寝たら運動会なんだよね！」と、おうちの人やお客さんに見てもらうことを楽しみにしていた運動会。「おばけのパーティー」楽しかった！」「バルーンの花火きれいだっただね！」と、どの種目もとても楽しんで一生懸命に取り組んでいました。そら組やたんぼぼ組と一緒に小学校で練習をしているときから、後ろで真似して踊っていた子供たち。運動会の後には、それぞれのクラスとリズムの教え合いっこをし、一緒に踊ることを楽しんでいました。そら組のリズムを特に気に入り、「ここは前と後ろが反対になるんだよ！」「前の人は座って！」と、憧れのそら組のように踊ろうと、友達と一緒に何度も繰り返し踊って楽しんでいました。

雨でいもほり遠足に行けず残念がっていた子供たちですが、おもいが出てくる絵本を読んだり繰り返し歌を歌ったりしています。絵本に出てきたおもいの友達を作り、一緒に遊ぶことを楽しみました。11月も、秋から冬にかけての自然に関心を持ち、自然物を取り入れて遊んだり、自分の思いを表現しながら友達と一緒に遊んだりする楽しさを味わえるよう援助していきます。

<年長・そら組>

一人一人が頑張った運動会。そして、自分の力を精一杯に出したり、「そら組、みんな力を合わせて笑顔で頑張るぞ」と友達と力と心を合わせた運動会でした。

「楽しかった」「頑張った」というやり遂げた達成感と、日々の練習の中で友達の良さに気付いたことで、学級としての意識が深くなったように思います。運動会後も、年中組に「天までとどけわらしうた！」を教えてあげ、「ここは、手をピンと伸ばすんだよ。」と踊りのポイントを教えてあげたりする姿は、キラキラと輝くお兄さん、お姉さんの表情でした。

「100かいだてのいえ」の絵本シリーズが気に入った子供たちは、グループ毎に「花」「宇宙」「秋の木」をテーマに100かいだてのいえ作りを楽しみました。友達と考えを出し合い、共通の目的に向かって取り組む中で、一緒に作り上げる楽しさを感じていけるよう援助していきます。

<お子様の体調管理について>

自分で衣服の調節ができるよう、お子様が脱ぎ着しやすい洋服を着せてください。

感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症予防のために、手洗い・うがい、咳エチケットを習慣にしましょう。

自分で鼻をかむ習慣を身に付けられるようにしましょう。

